

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第4号

イチゴ炭疽病の潜在感染状況について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第4号を発表したので送付します。

1 対象作物名：イチゴ

2 病虫害名：炭疽病

3 発生状況

(1) 7月5半旬に県下12か所の育苗床の苗から複葉を採取し、エタノール噴霧法による炭疽病の潜在感染株調査を行った結果、潜在感染株率は平年・前年より低かった。また、潜在感染株確認ほ場率も、平年・前年より低かった。(表1)

- ・潜在感染株率 **24.6%** (平年 35.5%、前年 49.2%)
- ・潜在感染株確認ほ場率 **83.3%** (平年 86.2、前年 91.7%)

(2) 7月5半旬に巡回調査を行った結果、発病株率は平年・前年並であった。また、発生ほ場率は平年より高く、前年並であった。(図1)

- ・発病株率 **0.03%** (平年 0.10%、前年 0.08%)
- ・発生ほ場率 **14.3%** (平年 9.2%、前年 14.3%)

4 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場をこまめに見回り、発病株及びその周辺株は速やかに除去・処分し、発病が拡大しないよう努める。
- (2) 雨よけ育苗等でも風通しが悪いと発病しやすいため、苗の間隔を空け通風を図る。
- (3) 窒素肥料を多用すると発病しやすいので、適正な肥培管理に努める。
- (4) 発病後に治療できる薬剤はないことから、葉かぎ作業直後や降雨前後を含めて定期的な予防散布を徹底する。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- (5) 低温処理時の注意事項
 - ア 夜冷短日処理や低温暗黒処理は、苗へのストレスがかかり発病を助長するので、入庫前に生育状況を確認し、必ず健全苗を用いる。
 - イ 入庫する際は、過湿を避けるため、苗を詰めすぎないように注意する。
 - ウ 入庫前および陽光処理時のかん水は、過度にならないように注意する。

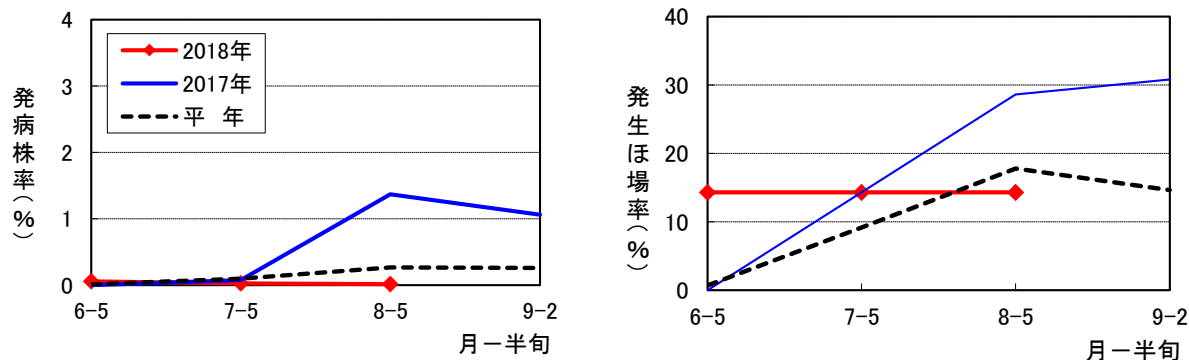


図1 巡回調査における炭疽病の発生推移

表1 イチゴ炭疽病の潜在感染株率の調査結果¹⁾

(単位: %)

調査地点 ²⁾	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	平年値
糸島市(本)	20	85	65	40	40	0	34
久留米市(田主丸)	65	55	20	50	30	0	22
筑前町(栗田)	5	90	85	75	70	0	50
飯塚市(安恒)	35	45	10	20	—	10	33
直方市(下新入)	5	40	45	5	—	—	30
田川市(弓削田)	30	30	80	—	—	—	55
福智町(伊方)	—	—	—	10	0	10	27
八女市(蒲原)	0	60	95	0	50	0	33
筑後市(江口)	30	65	85	25	—	—	58
大木町(蛭池)	45	70	70	15	85	15	42
広川町(太田)	40	0	35	5	40	5	28
岡垣町(野間)	20	30	85	5	25	0	38
みやこ町豊津	0	20	10	35	0	0	45
潜在感染株率平均	25	49	57	24	38	11	36
潜在感染株率確認ほ場率	83	92	100	92	80	67	86

- 注) 1. 調査地点は、イチゴ育苗期定点調査ほ場12地点 1地点20株、1株当たり下位葉1枚を採取
 2. 平年値は、過去10カ年平均。
 3. 「—」は未調査。



写真1 炭疽病による葉の汚斑



写真2 炭疽病による葉柄の褐変

福岡県病害虫防除所ではQRコードを作成しています。携帯電話のQRコードリーダーでスキャンして頂くと、病害虫防除所ホームページに簡単にアクセスできますので、御利用下さい。

福岡県病害虫防除所



最新の病害虫発生状況